

防衛省

2010～2012年 横田基地で3件

PFAS 漏出認める



防衛省と環境省などから話を聞く日本共産党国会議員、地方議員ら＝6月29日、参院議員会館

米軍横田基地周辺など東京都多摩地域の地下水や水道水から、発がん性や免疫抑制など健康影響が指摘される有機フッ素化合物（PFAS）が検出されている問題で、防衛省の担当者は29日、同基地で2010～12年にPFASの漏出が3件あった事実を公式に認めました。

日本共産党の国会議員らが聞き取り

日本共産党の国会・地方議員らが、PFASを含む泡消火剤の同基地での使用について防衛、外務、環境各省から行った聞き取りで明らかにしたものを。

防衛省は、漏出量については「米軍側から確認が取れていない」と回答。20年にも3件の漏出があったと報じられたことについては、米側に確認中としました。環境省は「一般的に、漏出すれば地下への浸透は十分考えられる。どう対応したか、防衛省と連携し事実関係を確認したい」と答えました。

泡消火剤「来秋までに交換」

防衛省はまた、泡消火剤について、PFOSやPFOAを含まない物と交換中として「横田基地は24年9月までに交換完了予定」と答えました。

聞き取りには、田村智子副委員長・参院議員（衆院東京比例候補）、笠井亮、宮本徹（東京比例・20区候補）両衆院議員、吉良よし子、山添拓両参院議員、樋口まこと衆院東京18区候補、都議、関係市議らが参加。多摩地域で自主血液検査に取り組む住民も同席しました。

まめ知識

PFASって？

水や油をはじく性質をもつことから、衣類や容器、家具などの防水加工、泡消火剤などに大量に使われてきました。

人体に入った場合、免疫力の低下、胎児や幼児の成長低下、がんなどの関連性が指摘されています。

汚染の問題、国の責任で原因究明を！

水の安全は命にかかわる大問題。米軍は漏出の報告書を出しており、政府としても開示を求めるべきです。

東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2023年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社（港区芝1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党